

様式第3号（第7条関係）

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成30年度第4回水戸市行政評価委員会
- 2 開催日時 平成30年10月12日（金）午前9時00分から午前10時00分まで
- 3 開催場所 本庁舎南側臨時庁舎3階中会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
伊藤明美，川島佑介，樋田雅美，水庭清隆，吉田勉（氏名五十音順）
 - (2) 執行機関
高橋靖，荒井宰，川上悟，櫻井和則，深谷晃一，千田寛，渡辺慧，畠山明子
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 答申（公開）
- 6 非公開の理由
公開
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称
 - (1) 答申書

9 発言の内容

○**事務局** 本日は，お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から，平成30年度第4回行政評価委員会を開催させていただきます。本日は答申書について確認していただいた後，市長へ答申を行う予定となっております。それでは，議事進行につきましては，____委員長をお願いいたします。

○____**委員長** 会議次第に基づき，議事を進めたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。それでは，会議録の公表の関係で，会議録署名人を指名させていただきます。____委員と____委員をお願いいたします。それでは，早速審議に入りたいと思

ます。答申書については、第2回及び第3回までの委員会における審議結果に基づき、作成させていただきました。委員の皆様には、事前に送付させていただいておりますが、特に問題はないということですのでよろしいでしょうか。それでは次に答申に移りたいと思います。ここからは、一度事務局に進行を移します。

○事務局 これより答申に移りますが、市長を呼んでまいりますので、しばらくお待ちください。

<市長入室>

○事務局 それでは、___委員長から高橋市長へ、平成30年度行政評価についての答申をしていただきます。___委員長よろしく願いいたします。

○___委員長 水戸市長高橋靖様、平成30年度行政評価につきまして答申させていただきます。平成30年8月7日付け行評諮問第1号により、当委員会に諮問のありましたこのことについて、別添の平成30年度行政評価に係る答申書のとおり答申いたします。

○高橋市長 御審議いただきましてありがとうございました。

○___委員長 それでは、ただいま答申いたしました答申書について概略を説明させていただきます。答申書を御覧ください。1年目評価は、5施設の公の施設の利用状況についてですが、そのうちの障害者教養文化体育施設につきましては、施設の利用が減少している部分もあることから、周知の方法に改善の余地があり、青柳公園につきましては、一般市民に向けた施設の存在や施設の機能の周知の強化が必要なことから、2施設につきましては、引き続き、見直しの上で継続するという事でまとめさせていただきました。2年目評価につきましては、『ヒューマンライフシンポジウム』のほか4事業が評価の対象でしたが、全ての事業について、昨年度の評価意見を踏まえて、改善が見られましたので、評価を終了させていただきます。3年目評価につきましては、『農業祭』、『商工祭』については、費用負担の根拠の明確化が課題とされたところではありますが、根拠が明確になったものではないことから、出店者のみではなく、市民に対して説明責任を果たせるように、分かりやすい費用負担のあり方を検討してみてもどうかということで、引き続き、行政評価の対象といたしました。『水戸黄門まつり』につきましては、来年度、リニューアル案に基づいてイベントを実施していただいて、それを確認して評価終了とするため、評価を継続するものとさせていただきます。6年目以降の評価につきましては、『斎場管理運営事務』については、新しい施設ができるということから、それを含めて評価を継続させていただきます。評価が継続となったものは、改善の途上でもありますので、良い傾向も見させていただきましたが、評価としては継続とさせていただくということで、委員会としてはまとめさせていただきましたので、よろしく願いいたします。

○執行機関 ありがとうございます。それでは、市長から御挨拶を申し上げます。

○高橋市長 ___委員長をはじめ、委員の皆様がたには、さまざまな御指摘、御提言をいただきまして、心から感謝を申し上げます。あわせて、このような素晴らしい答申を御提出いただけたことに感謝を申し上げます。人口減少、超高齢社会、少子化によ

って、社会保障費が非常に増大しているということで、さまざまな施策を展開させていた
だいているところでありますが、やはり社会保障費がこれからも増大をしていく、特に高
齢化が進んで、団塊世代のかたがたが 75 歳以上になるという 2025 年以降の 10 年から 20
年の間、医療費あるいは介護保険が高まっていくだろうということが予想されています。
そういった中で、私たちはしっかり準備をしていかなければならないのですが、一方で、
私たちも限られた資源でありますので、効率化を図っていかなければなりません。この増
大するさまざまな行政需要に対応するためには、私たちが効率化を図りながら、しかし、
増大する行政需要に対して、誰に、どのように任せて進めれば良いのかということ、私
たちは、先を見据えて準備をしていかななくてはならないと思っております。市役所ばかり
ではなく、民間のお力を借りて、役割分担といった形で、市民の皆様がたにお任せでき
ることはお任せをする。あるいは、ボランティアに御協力いただけるものについては、でき
るだけ市民力を活用させていただく。そのような役割分担をして、自分たちができること
を、市役所だけではなく、市民皆で考えていけるような雰囲気をつくりながら、行政運営
を進めていけたらと思っております。しかし、全ての業務を市役所でやらなければならない
といった意見が出ることもあります。そのため、民間のかたがたもさまざまなノウハウを
もっていることや、ボランティアやNPOが行政の一端を担えるぐらい育っているという
ことを、もっと市民や議会に御説明をしなければならぬと思っております。例えば、民
間の幼稚園、保育園のように、民間のかたがたの取組のほうが、市民のかたがたから人気
があるといったことを、私たちもしっかり説明する必要があります。民間のかたがたにし
ても、NPOにしても、ボランティアにしても、それだけ成長しているということ、も
っと市民の皆様がたに御理解をいただいて、議会にも説明責任を果たしながら、いろい
ろな役割分担というものを皆で考えていけたら良いと思っております。まだまだ説明が足り
ないため、私たちもしっかり説明責任を果たしていかなければならないと思っております。
これからも、委員の皆様にはアドバイスをいただきながら、誰がどのような事業を担えるの
か、誰がどのような責任を持っているのか、行政運営の留意点として持っていきたいと思
っておりますので、適切なアドバイスをいただけたらありがたいと思います。

水戸市役所も、10月末に完成して、11月末から順次業務が始まり、来年の1月4日には
フル稼働ということで始まります。箱物を作ったから良いということではなく、市役所は
市民サービスの拠点であり、総合防災の拠点でありますから、特に市民の安心、安全を、
肌で感じていただけるような業務を、職員一丸となってやっていかなければならないと思
っております。そういった部分につきましても、いろいろお気づきの点がございましたら、
委員の皆様にも御指摘をいただけたらありがたいと思っております。いずれにいたしまし
ても、時代を先取りしていきたいと思っております。私たちも、次の世代の市役所の職員、
次の世代の市民の皆様がたに、あの時にこういったことをやってくれば良かったの
にということをおられないような仕事をしていきたいと思っております。私も、平成7年
からこの世界に入って、市会議員、県会議員、市長をやらせていただいておりますが、自

分も反省することがあって、市議員の頃にもっと提言をして、市役所を動かしておけば良かったと、自分が市長という立場になって思うことがあります。例えば、この7年間で保育所を整備してきて、わずか7年間で2,000人以上の定員を増やしてきました。おそらく、私が市長になったこの7年間で、保育費が多く増えていると思います。本当はもっと先取りをして、いずれこういう時代が来るのだから、もっと計画的に保育所を増やして行こう。その時に、運営を民間に任せるのか、それとも公立保育園としてやっていくのか、きちんと整理をして、そして、民間に任せるのであれば、年間に1か所ずつ計画的に増やしていけば、待機児童に慌てて取り組むこともなかったと思っております。エアコン設置のニュースもそうだと思いますけど、地球温暖化が叫ばれていて、数十年の間で気温が何度高くなったのかもデータで出ていましたので、計画的にエアコンの設置もやっておけば良かったのです。これは、私が平成26年に第6次総合計画を作る時に、エアコンを設置しようということで、周りの反対意見を押し切って、エアコン設置の予算をつけました。今年、中学校だけは間に合わず、中学生には申し訳ないことをしたと思いますけれども、計画的に4年間かけてエアコンの設置をしてきたこともあって、水戸市はそう批判をされずに、今回の夏を迎えさせていただきました。

いろいろなデータを見れば、将来こういうふうになるだろうと分かるものはあります。地震や台風のように、わからないものについては、対応しきれないところがありますけれども、高齢化や少子化のように、データで判断できるものはいっぱいあります。データに基づいて、きちんと時代を先取りして、計画的な施策を展開していくことが大切だと、自分が市長をやって、そして二十年以上もこの世界で生きてきて反省をしながら、そういうことを実感しています。客観的なバックグラウンドに基づいて、計画を立てていくというような行政運営をやっていかなければならないと思っております。いずれにいたしましても、これからも市民目線に立って、効率良く、最小の経費で最大の効果を発揮する市役所としての役割、責任を果たしていければと思っております。今回、委員の皆様がたには、御指摘をいただいたこと、課題として残されていることもまだまだあります。私たちもいろいろ考えながら、委員の皆様がたからいただいた御提言等につきましては、解決を図っていきたく思っておりますので、叱咤激励をいただき、時として優しく、時として厳しくお見守りをいただければありがたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

答申をいただき、活発な御議論をいただきましたことに、心から御礼と感謝申し上げます。私からの御礼の挨拶とさせていただきます。

○執行機関 それでは、以上をもちまして、答申を終了としたいと思います。なお、高橋市長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

○高橋市長 いろいろお世話になりました。ありがとうございました。

<市長退席>

○執行機関 それでは、引き続き、____委員長に進行をお願いします。

○委員長 皆様お疲れ様でした。以上をもちまして、平成30年度行政評価委員会は終了となりますが、委員の皆様から何かございますか。

＜意見なし＞

○委員長 それでは、事務局から何かございますか。

○執行機関 はい。今後のスケジュールについてですが、いただきました答申を基に、市長を本部長とする水戸市行政改革推進本部において、3次評価を行いまして、市の方向性を最終決定してまいります。また、今年度の行政評価については終了となりますが、来年度は10事務事業程度の新たな事業を選別して、御審議いただきたいと思います。今年度も長期間にわたっての御審議をいただきましてありがとうございました。

○委員長 それでは、平成30年度第4回行政評価委員会を終了いたします。お疲れ様でございます。